

血友病診療の新たな展開

特集にあたって	自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門教授	大森 司
1. 血友病の疫学とQOLの課題	聖マリアンナ医科大学小児科学教室特任教授	瀧 正志
2. 国内における血友病診療体制の現状と展望	産業医科大学 名誉教授	白幡 聡
3. 血友病に関する凝固検査と遺伝子診断	東京医科大学臨床検査医学科講師	篠澤 圭子
4. 定期補充療法の現状と半減期延長型製剤の役割	東京医科大学臨床検査医学科教授	天野 景裕
5. 非凝固因子治療薬の開発と臨床応用	奈良県立医科大学小児科准教授	野上 恵嗣
6. 遺伝子治療の現状と展望	自治医科大学医学部生化学講座病態生化学部門	平本 貴史
7. 血友病関節症の診断と治療	東京大学医科学研究所附属病院関節外科診療科長	竹谷 英之
8. 保因者診療の重要性	国立病院機構大阪医療センター感染症内科医長	西田 恭治
9. 患者会の活動と医療者との関わり	三重大学医学部附属病院輸血・細胞治療部副部長	松本 剛史

編集 後記

今年も花粉症のつらい季節がやって来た。私事ではあるが当方も「季節性アレルギー性結膜炎」と呼ばれる花粉症持ちで、目薬が欠かせない。連日眼をしょぼつかせてパソコンを操作する。花粉症によって集中力が途切れ、仕事や勉学の効率が悪くなる方々も多いだろう。日本の社会・経済的損失も多大かと思われる。

戦後、森林資源の増大や回復を目的に大量の植樹が行われ、約30年以上の時を経て花粉をまき散らすまでにスギやヒノキが成長したが、輸入材の増加や

木造住宅の減少のため木材価格が下がり、伐採が進まなくなったことも影響しているとのこと。

ところで、異物(花粉)に対して異常に強い免疫反応を起こす人が花粉症になることを考えると、巷で「免疫を高める!」と銘打つ食品や健康本も、健康のためだといって鵜呑みにすべきではないことがわかる。免疫力が弱すぎると感染症にかかりやすく、強すぎるとアレルギー疾患・自己免疫疾患にかかりやすくなると、一般の人は理解しておくべきである。物事の理想は「中庸」と実感する。(H)

Pharma Medica

ファルマ

メディカ

Vol.37 No.4 2019. 4

2019年4月20日発行

定 価 (本体1,700円+税:送料実費)

年間購読 (本体20,400円+税:送料当社負担)

発行者 松岡 光明

発行所 **メディカルレビュー社**

〒541-0046 大阪市中央区平野町3-2-8 淀屋橋MIビル
TEL 06-6223-1468(代)

Pharma Medica編集制作部 TEL 06-6223-1556

販売部 TEL 03-3835-3049 FAX 03-3835-3075
e-mail sale@m-review.co.jp

〒113-0034 東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル
TEL 03-3835-3041(代)

振替口座 大阪6-307302

http://www.m-review.co.jp

印刷 株式会社中島弘文堂印刷所

広告取扱店 メディックスエージェンシー TEL 080-5421-3501

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)・上映・譲渡に関する許諾権は(株)メディカルレビュー社が保有しています。

・**JCOPY** <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(TEL 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mailinfo@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・乱丁・落丁の際はお取り替えいたします。